

街並みテクテク No. 19：南千住駅～押上駅（2025-4-20）

参加者：碓貴臣、岸敦夫・美智代（夫妻）、後藤幸子、角野章之、黛政男、三木和幸、木村芳一（敬称略；計8名）

行程：南千住駅～押上駅 約6km

南千住駅→回向院→石浜神社→向島百花園→白鬚神社→長命寺→弘福寺→三囲神社→すみだ郷土文化資料館→押上駅

・向島百花園および隅田川に沿って点在する歴史ある神社仏閣（隅田川七福神の六福神）を巡りました。ただし、前に STF 見学会で訪れたセイコーミュージアムは撤去され、銀座に移転されていました。

・向島百花園（福祿寿尊）は、江戸時代に骨董商・佐原が文人墨客の協力を得て造園したもので、200年の歴史を持つ都立庭園です。フジの花が丁度見頃であり、それ以外にも趣ある様々な草花、花木が植えられていました。

・長命寺（弁財天）は、徳川家光が鷹狩中に腹痛を起こした際に、この寺の井戸水で薬を服用したところ治ったことから名付けられたとのこと。寺の近くの、300年前に創業された「山本や」で長命寺桜もち（一部の人は別の店で言問団子）をいただき、歴史ある味を楽しみました。

・三囲（みめぐり）神社（恵比寿神、大国神）は平安時代に創建され、江戸に出た三井家によって信仰され、その縁で「池袋三越」にあったライオン像が境内に移転されています。また三囲神社の“囲”の文字には三井の“井”が入っているため、「三囲はすなわち三井に通じ、三井を守る」と考えられたとのこと。

・石浜神社は724年に、白鬚神社（寿老神）は951年に、弘福寺（布袋尊）は1673年に創建され、それぞれ長い歴史を持っています。

・久々のテクテク会、よく歩き、最後はスカイツリー近くの居酒屋で乾杯。

（木村芳一）



南千住駅にて



向島百花園の園内



向島百花園のフジ棚



長命寺



長命寺桜もちの山本や



重層の屋根を備える弘福寺



三囲神社（境内にライオン像）